

令和6年7月26日
水管理・国土保全局
気象

山形県では引き続き土砂災害・河川の増水や氾濫に厳重に警戒

山形県酒田市、庄内町、鮭川村、戸沢村、新庄市及び舟形町では、まもなく、大雨特別警報は警報に切り替えとなる見込みです。

これまでの大雨により、地盤の緩んでいるところがありますので、土砂災害、河川の増水や氾濫について引き続き厳重に警戒してください。

また、山形県を流れる最上川水系最上川・相沢川、秋田県を流れる子吉川水系石沢川など、これまでの大雨で増水しており、高い水位が継続しています。

土砂災害及び河川の増水や氾濫に関する留意事項を別添のとおりお知らせいたします。

問い合わせ先

国土交通省水管理・国土保全局河川環境課河川保全企画室

企画専門官 小谷 (内線 35-462)

代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8448

気象庁大気海洋部気象リスク対策課

防災気象官 西 (内線 4202)

代表 03-6758-3900 直通 03-3434-9051

山形県では引き続き

土砂災害・河川の増水や氾濫に厳重に警戒

- 山形県酒田市、庄内町、鮭川村、戸沢村、新庄市、舟形町では大雨特別警報を大雨警報に切り替えへ

もがみがわ

もがみがわ

あいざわがわ

- これまでの大雨で 最上川水系最上川・相沢川、
子吉川水系石沢川で高い水位が継続

- 避難情報に従い、身の安全を確保！

- 上流部に降った雨の影響で、河川の水位は上昇したり、**水位の高い状態が続く**場合があります。
- これまでの降雨により、**流域が湿潤状態**であり、今後、再度大雨が発生すると、河川の氾濫の危険性が高まります。
また、高い水位が継続しているため、**堤防や護岸等の損傷を十分に確認できていません**。そのため、**今後の大雨には特にご注意ください**。
- 山形県以外でも、今後の降雨状況にも注意し、引き続き、河川の氾濫に厳重に警戒してください。
- 市町村が発表する避難情報に従い、**身の安全を確保してください**。
川には絶対に近づかないでください。
- 各地の河川事務所や气象台などが発表する情報、気象庁HP等の「危険度分布」や「川の防災情報」などにより、最新の情報を確認してください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の气象台が発表した気象情報をご利用ください。

(気象庁ウェブサイト：<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

河川の水位、ダムの放流量などの情報は「川の防災情報」をご覧ください。

(国土交通省 川の防災情報ウェブサイト：<https://www.river.go.jp/portal>)



氾濫が発生している国管理河川(警戒レベル5相当)

- こよしがわ いしざわがわ
・ 子吉川水系石沢川 (秋田県由利本荘市)
- こよしがわ こよしがわ
・ 子吉川水系子吉川 (秋田県由利本荘市)
- もがみがわ もがみがわ
・ 最上川水系最上川 (中流) (山形県戸沢村)

氾濫危険水位を超過している国管理河川(警戒レベル4相当)

- もがみがわ もがみがわ
・ 最上川水系最上川 (下流) (山形県酒田市)
- もがみがわ あいざわがわ
・ 最上川水系相沢川 (山形県酒田市)

その他にも、今後の降雨の状況により、水位が上昇する場合がありますため、警戒が必要です。

- 山形県では、このままの状況が続けば、発表している大雨特別警報は警報に切り替えとなる見込みです。
- 大雨特別警報が警報に切り替わった後も油断することなく、地元市町村が発令している避難指示（警戒レベル4）等に従って身の安全を確保してください。
- これまでの大雨により地盤の緩んでいるところがあります。土砂災害についても引き続き、厳重に警戒をしてください。

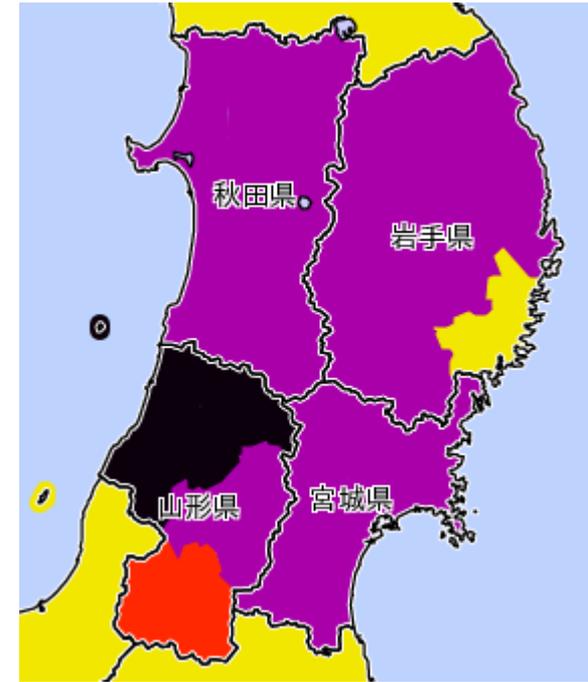
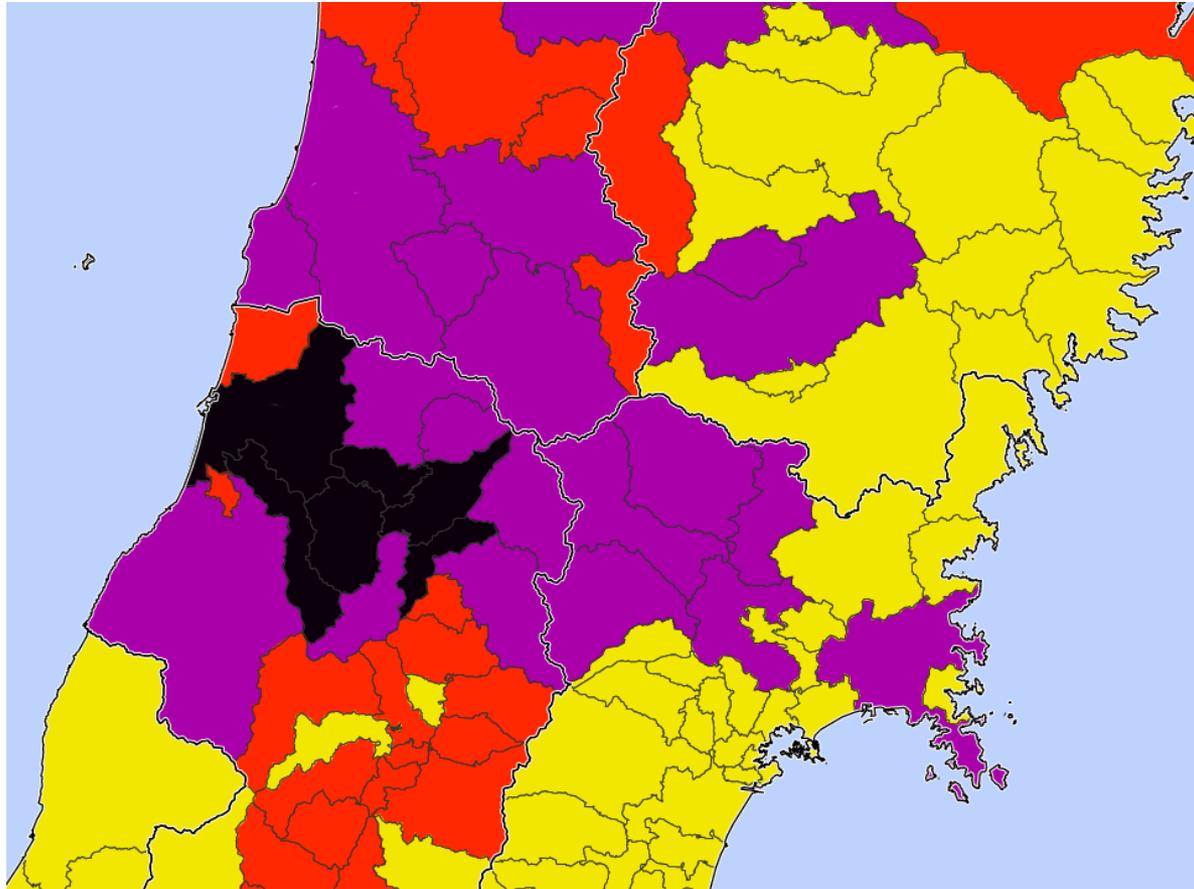
今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

（気象庁HP：<https://www.jma.go.jp/jma/>）

河川の水位、ダムの放流量などの情報は「川の防災情報」をご覧ください。

（国土交通省 川の防災情報HP：<https://www.river.go.jp/>）

2024年7月26日4時48分現在

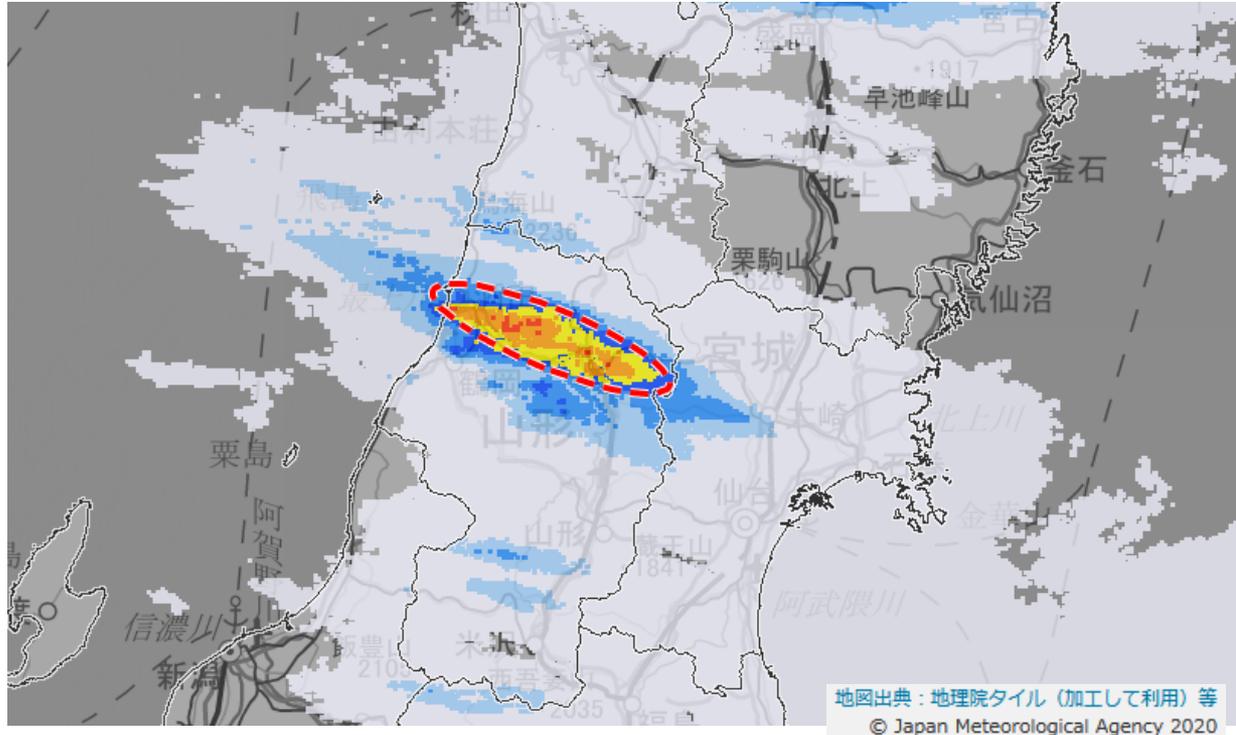


- 大雨特別警報
 - 特別警報(大雨以外)・高潮警報
土砂災害警戒情報
 - 警報(高潮以外)・高潮注意報(*1)
 - 注意報(高潮以外)・高潮注意報(*2)
 - 発表なし
- *1 高潮警報に切り替える可能性が高い
*2 上記以外の高潮注意報

特別警報・警報が発表されている市町村内のどこで災害発生の危険度が高まっているかを「キキクル（危険度分布）」で確認してください。

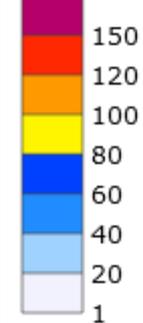
今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

3時間降水量 2024年7月25日22時50分



3時間降水量

mm/3h



大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域 (現在時刻の解析)

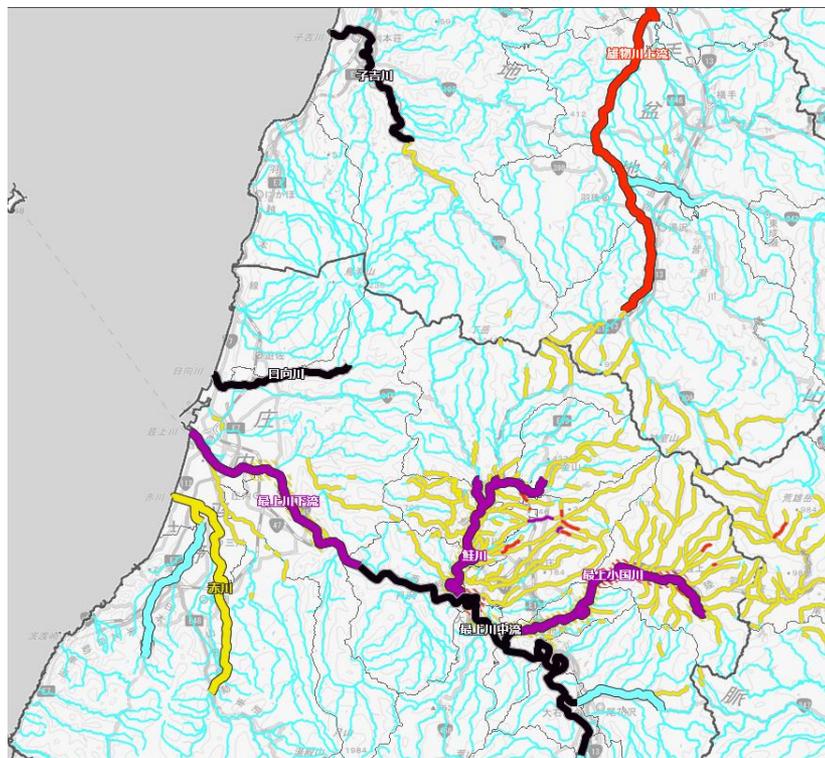
大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域 (10~30分先の解析)

- 線状降水帯が発生している地域では、命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。 危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。
- 線状降水帯の周辺の地域でも、大雨による災害発生の危険度が高まっている場合があります。 線状降水帯の有無によらず、災害発生の危険度の高まりを示すキキルを活用することが極めて重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(キキル(危険度分布) : <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land>)

キキクル(危険度分布)

洪水害 2024年7月26日4時30分



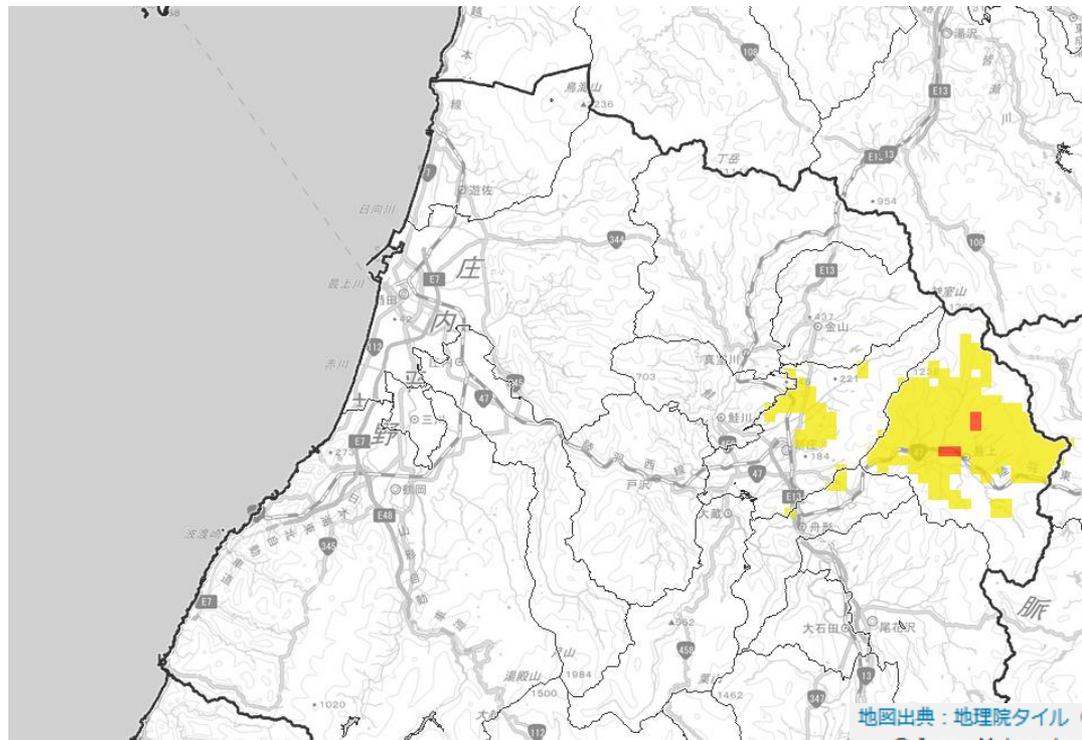
地図出典：地理院タイル（加工して利用）等
© Japan Meteorological Agency 2020



- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」(黒)となっている場所では、**重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況**となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」(紫)となっている場所では、**重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況**となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(キキクル(危険度分布))：<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood>)

浸水害 2024年7月26日4時30分



地図出典：地理院タイル（加工して利用）等
© Japan Meteorological Agency 2020

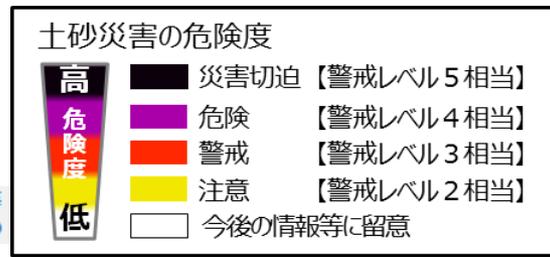
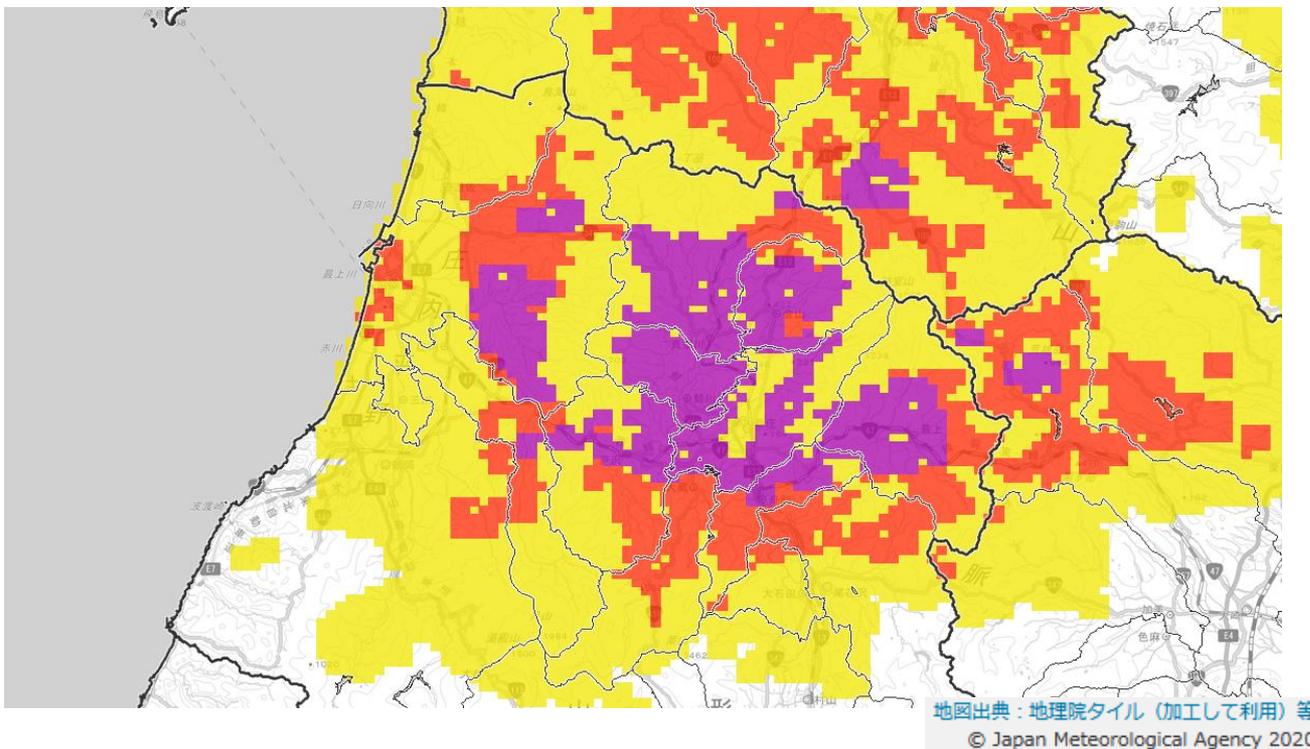
浸水害の危険度



- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」（黒）となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」（紫）となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

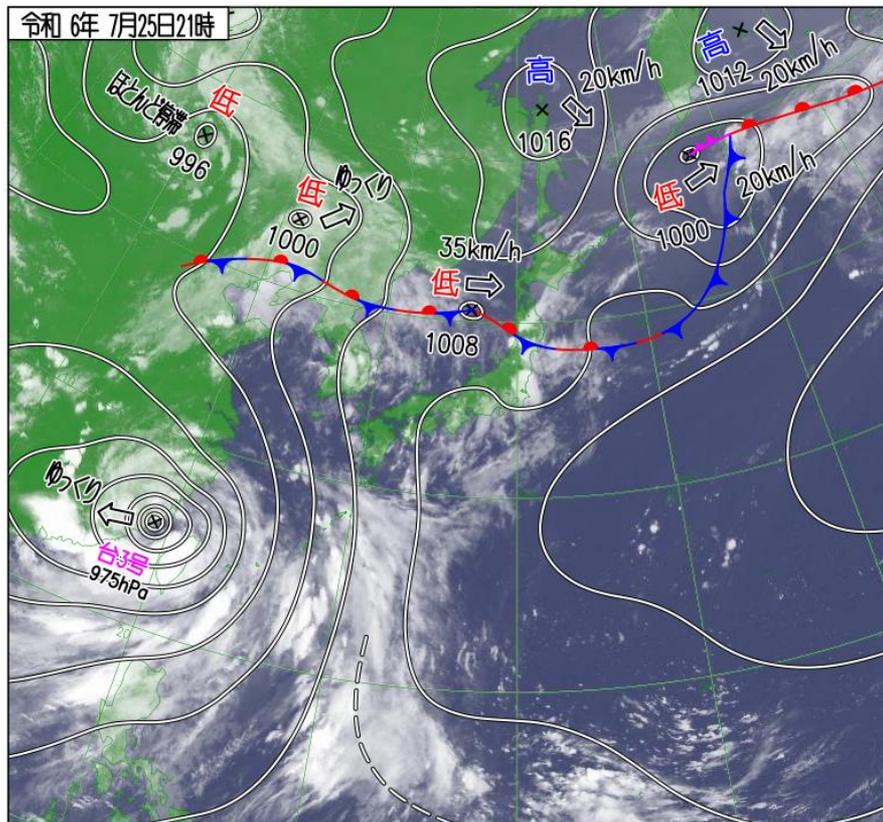
今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(キキクル(危険度分布)：<https://www.ima.go.jp/bosai/risk/#elements:inund>)

土砂災害 2024年7月26日4時30分

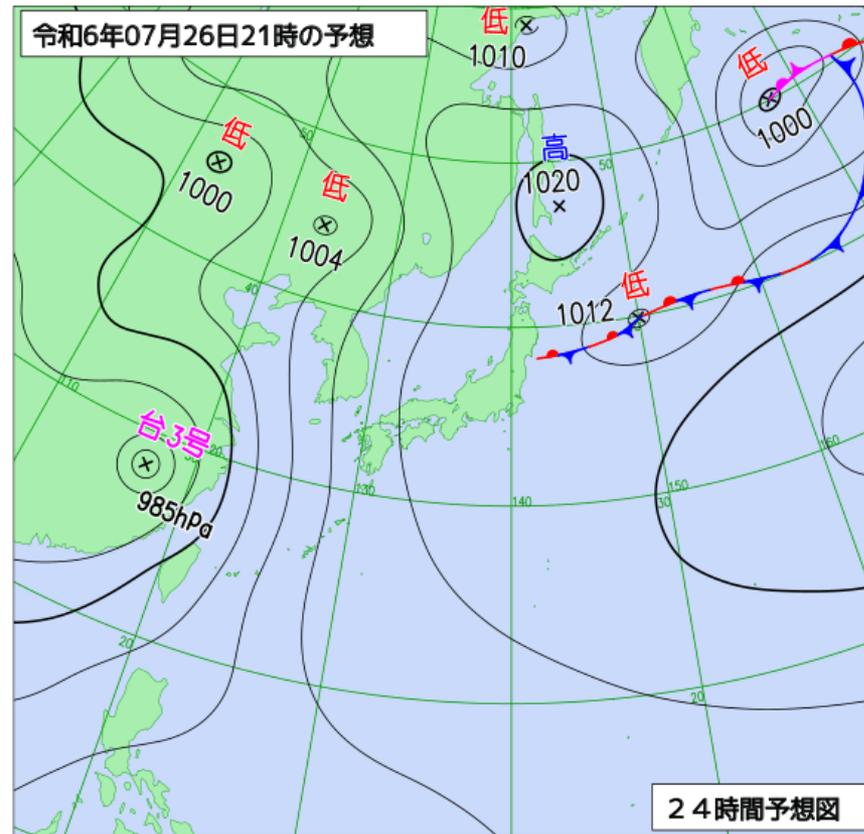


- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」（黒）となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」（紫）となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(キキクル(危険度分布)：<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land>)



地上天気図
(7月25日21時)



予想天気図
(7月26日21時予想)

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(天気図：https://www.jma.go.jp/bosai/weather_map/)

大雨の警報級となる可能性のある期間

日		26日		27日	28日	29日	30日
時		6~18	18~6	6~24			
東北地方	大雨	■	■	■	■	■	■
関東甲信地方	大雨	■	■	■			
北陸地方	大雨	■			■		
東海地方	大雨	■	■				
中国地方	大雨	■	■				
九州北部地方	大雨	■	■				
奄美地方	大雨	■					
沖縄地方	大雨	■	■				

■ 可能性がある ■ 可能性が高い

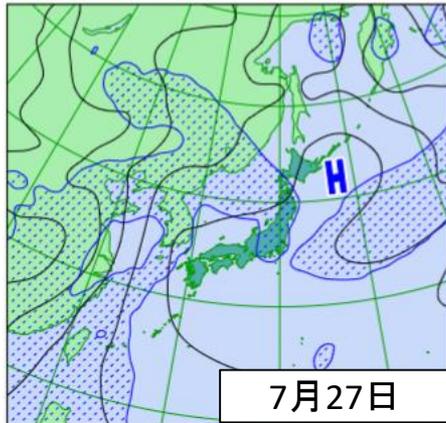
今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
 (気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

地域	27日6時までの 24時間雨量 (予想)	28日6時までの 24時間雨量 (予想)	29日6時までの 24時間雨量 (予想)
東北日本海側	120	150	200
東北太平洋側	100	100	120

単位:ミリ

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象情報：<https://www.ima.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>)

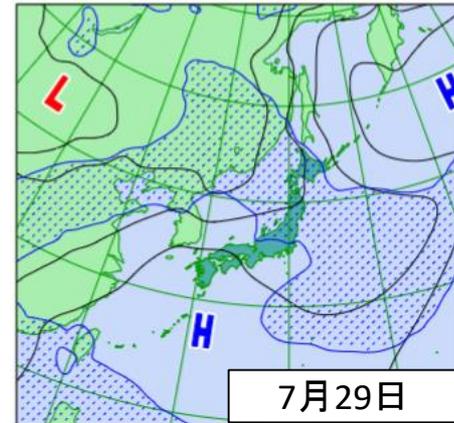
今後1週間の見通し



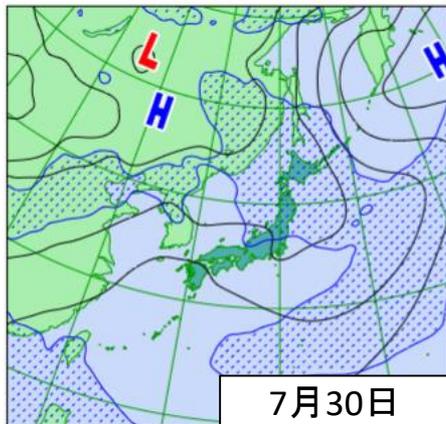
SURFACE PRESS, PRECIP(48-72)



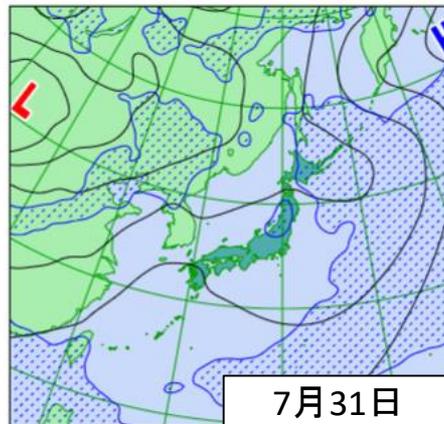
SURFACE PRESS, PRECIP(72-96)



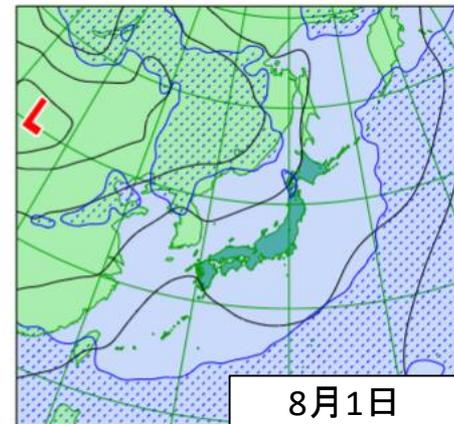
SURFACE PRESS, PRECIP(96-120)



SURFACE PRESS, PRECIP(120-144)



SURFACE PRESS, PRECIP(144-168)



SURFACE PRESS, PRECIP(168-192)

※ハッチ域は降水が予想される地域

<ポイント> 東北地方を中心に、30日頃にかけて、曇りや雨の日が続く。

関連資料の掲載場所

※アイコンをクリックすると気象庁HPが表示されます。



@JMA_bousai

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。



気象庁の公式チャンネルです。緊急記者会見の様などをお届けします。最新の防災気象情報については、気象庁ホームページやツイッターをご覧ください。



- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））
http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf
- 新型コロナウイルス感染症が収束しない中での避難について（内閣府（防災担当）・消防庁）
<http://www.bousai.go.jp/pdf/colonapoint.pdf>

(参考)大雨による災害の留意事項①

大雨が降ると...

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう
土砂災害が発生!

崖崩れや土石流の発生を確認して
から避難することはできない。



広島市の土石流による被害の様子
(平成26年8月20日気象庁撮影)

平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇!**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうちに急激な水位上昇が起こりやすい。



福岡県朝倉市を流れる北川の様子
(出典：国土地理院ホームページ)

平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水!**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が決壊したりすると、広範囲が長時間浸水するなど大きな被害となる。



茨城県常総市の浸水被害
(資料：国土交通省関東地方整備局)

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、
キキクルや指定河川洪水予報を活用し、

安全に避難できる早い段階で避難開始を判断することが重要!



(参考)大雨による災害の留意事項②

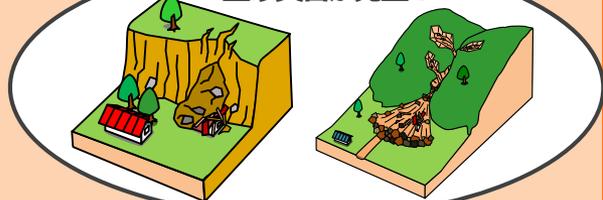
大雨がやんでも...

土砂災害の危険が継続!

雨が弱まったりやんだりしても、それまでに降った大雨により地盤が緩んだ状態が続き、土砂災害が発生することがある。

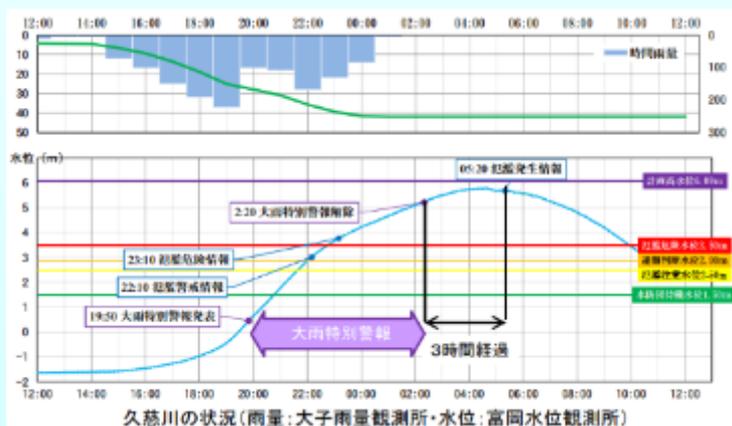


土砂災害が発生!



油断禁物! 大河川は時間差で増水

大河川は上流の雨により下流で遅れて増水する。このため、大雨が止んだ後であっても、水位が上昇し氾濫することがある。



(出展: 「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」資料に加筆)

令和元年東日本台風では、吉田川、阿武隈川、石田川、蛇尾川、都幾川、越辺川、久慈川、千曲川の7河川で大雨特別警報解除後に氾濫発生情報を発表している。

避難先から家に帰る前に

自治体の避難情報や気象情報を確認することが大切!

危険な状況ではなくなったことを確認してから家に帰りましょう。



位置づけ・役割

<位置づけ>

大雨特別警報は、避難指示に相当する気象状況の次元をはるかに超えるような現象をターゲットに発表するもの。発表時には何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い。

<役割>

- (1) 土砂災害警戒区域や浸水想定区域など、災害の危険性が認められている場所からまだ避難できていない住民が直ちに命を守る行動を徹底
- (2) 災害が起きないと思われているような場所においても災害の危険度が高まる異常事態であることの呼びかけ
- (3) 速やかに対策を講じないと極めて甚大な被害が生じかねないとの危機感を防災関係者や住民等と共有することによる、被害拡大の防止や広域の防災支援活動の強化

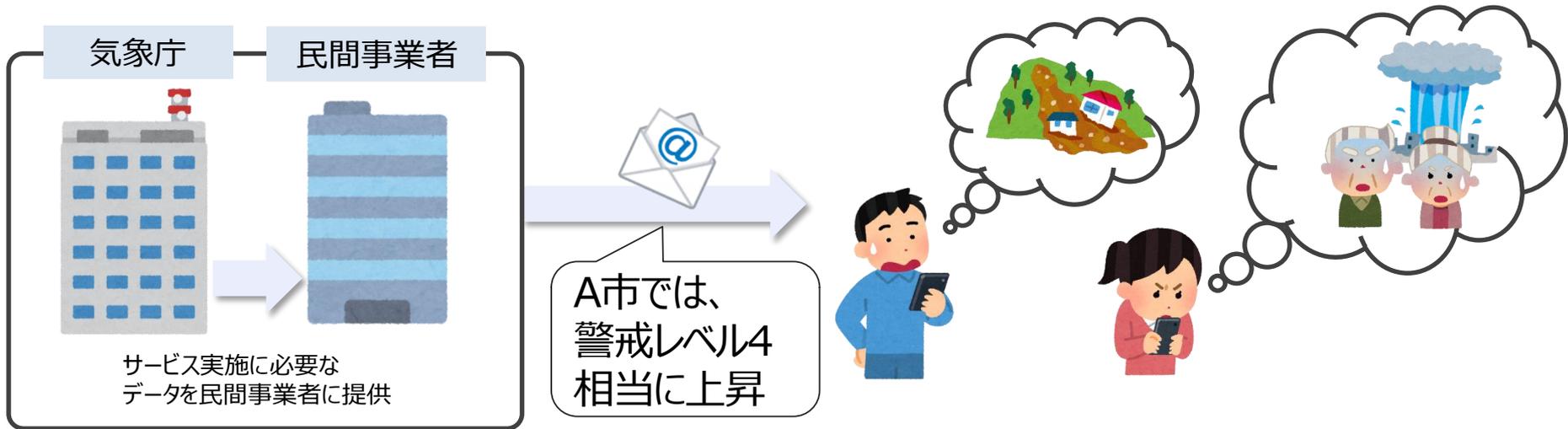
(参考)5段階の警戒レベルと防災気象情報

気象庁等の情報 キキクル		市町村の対応		住民がとるべき行動	警戒レベル
大雨 特別警報	災害切迫	氾濫 発生情報	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	5
<警戒レベル4までに必ず避難！>					
土砂災害 警戒情報	高潮 特別警報	危険	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
※ 大雨警報 洪水警報	高潮警報に 切り替える 可能性が高い 注意報	警戒	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3
大雨警報に 切り替える 可能性が高い 注意報	高潮 注意報	注意	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制)	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2
大雨注意報 洪水注意報			第1次防災体制 (連絡要員を配置)	災害への心構えを高める	1
早期注意情報 (警報級の可能性)			<ul style="list-style-type: none"> 心構えを一段高める 職員の連絡体制を確認 		

※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

- ▶ 土砂災害や洪水等からの自主的な避難の判断に役立てていただくために、危険度が高まったときにメールやスマホアプリでお知らせするプッシュ型の通知サービス※1を実施しています。
- ▶ この通知は市町村からの避難指示等よりも先に届く場合があります。このため、通知を受信したときには、市町村からの避難指示等を確認するとともに、避難指示等が発令されていなくても、市町村内のどこで危険度が高まっているかを「キキクル(危険度分布)」の地図や河川の水位情報等で確認することで、自主的な避難の判断※2・3に活用いただけます。



※1 住民の主体的な避難の判断を支援する取組の一環として、気象庁の協力のもとで、以下のリンク先の5つの事業者が実施するものです。

(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/ame_push.html)。

※2 離れた場所に暮らしている家族に避難を呼びかけることにも活用いただくことができます。

※3 避難にあたっては、指定された避難場所への避難がかえって危険な場合には、少しでも崖や沢から離れた建物や、少しでも浸水しにくい高い場所へ移動するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。